

メディア・リテラシー学習を支援する 教師用ポータルサイトの開発

…に関する考察

東京大学大学院 学際情報学府
修士課程1年
酒井俊典

はじめに

本研究では…

- 教師教育
- 教師支援CSCL

Computer Supported Collaborative Learning

の知見を積極的に活用することで、
教師がメディア・リテラシーを学習で
きるポータルサイトの開発を試みる。

社会的背景(日本)

近年、メディア・リテラシー授業実践の活発化

…しかし、教師を対象とした、メディア・リテラシー学習支援の仕組みは少ない…

- 学習指導要領未記載
- 欠しい学習支援機会
- WEBは知識伝達型・リソース提供型が主流

社会的背景(イギリス・カナダ)

イギリス・カナダの様々なメディア教師支援

- ナショナルカリキュラムに記載
- 高等教育機関(大学etc)、NPOによる支援

…しかし、on-lineでの教師支援に関しては、
やはり知識伝達・リソース提供型が主流。

メディア・リテラシー分野に教師支援CSCL
の知見を援用した研究は存在しない。

教師とは、教師の学習とは…

- 教師とは
「反省的实践家としての教師」
(佐藤, 1997)
- 教師の学習とは、成長とは、
「教師の反省的成長」(木原, 1998)
「対話」と「共同」が反省的成長を促す
(木原, 1995)
- 教師の授業力量形成へ

教師支援CSCLの類型

CSCLの理論的背景

- 社会的構成主義、状況的学習論

サイト名	開発者	特徴
TAPPED IN	Roy,Pea	実践開発の工房
teachscape	Roy,Pea他	教師の学習の場 学習コンテンツも提供
Teacher Episode Tank	中原(1999)	教師が実践を語り、ふり返るためのツール

これらは教師教育で培われた知見を援用する
ことで、実績を上げている。

TAPPED IN

➤ 実践を作り出す工房

アメリカ

1000人教師参加

理科学習改革

複数のK-12の教員研究組織と共同運営

手軽に学べるオンライン研修サービスの開

発、運営、研究

TAPPED INの図



teachscape

➤ 学ぶコンテンツの提供・学習の場

-アメリカ

Roy Peaがディレクター

-「Literacy」, 「Mathematics」, 「Science」

教師の専門性発達

模範授業観察 ストリーミング

共通課題についてのディスカッション

<http://www.teachscape.com/public/index.html>

teachscapeの図



Teacher Episode Tank

➤ 教師が実践を語り振り返るツール

中原(1999)

教師のコミュニケーションを促進

同僚教師との「語り」

教育実践の「内省」

知見の援用に当たって

……これら教師支援CSCLはメディアリテラシー学習を支援するものではない。

そこで、

本研究では、メディア・リテラシー学習を支援するために教師支援CSCLの知見を援用したポータルサイトの開発



しかし、その為には、メディア・リテラシー学習の特徴を考慮しなければならない。

メディア・リテラシー学習の特徴

- メディアを批判的に読み解く能力の獲得
- 社会学やメディア論、カルチュラルスタディーズから派生した分析の視座を身につける。

…がこれは安易なメディア攻撃を生み出しやすいという問題点も。

そこで、冷静な視座の獲得に必要となるのが

- 「視座の移動」、「立場の相対化」
- 送り手と受け手の立場の相対化

教師用ポータルサイトの目的

教師が…「立場の相対化」を経て、「対話」と「共同」を行いつつ

- 1)メディアを批判的に読み解く視座の獲得
- 2)新たなメディア・リテラシー実践の

開発

を行う「コミュニティー」の構築

搭載機能

- 学習のリソースとなる映像のストリーミング配信、資料提供
 - 既存の番組(CM、NEWS etc)
 - メディア・リテラシー授業実践の映像、資料
 - ブックガイドetc
- 送り手と受けての立場を相対化するための「ディスカッション・スペース」の設置

ポータルサイトに参加する人々

➢学習者

既存のメディア・リテラシー研究会に所属する教師(複数のコミュニティー)

➢ファシリテーター

東京大学大学院 MELL Project

= 研究者 + メディア業界で働いている人



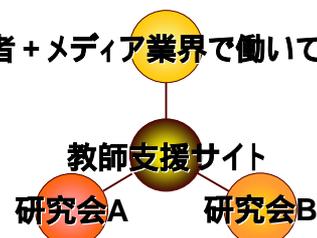
立場の相対化を図る

MELL Projectとは？

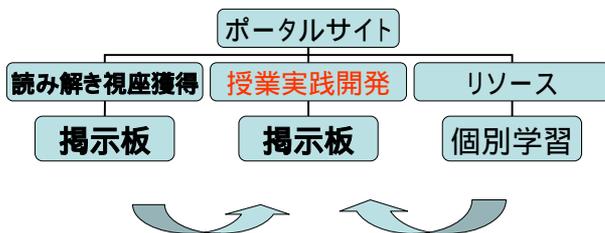
- Media Expression, Learning and Literacy Project の略、「メディア表現と学び、リテラシープロジェクト」
- 大学関係者 + 学校現場の教師、ジャーナリスト、放送、新聞業界人etcが参加
- メディア・リテラシーについての実践的な研究

ポータルサイトと参加者

研究者 + メディア業界で働いている人



ポータルサイトの構成図



ポータルサイトの構成

- 読み解き視座獲得パート
既存の番組映像をもとに、ファシリテーターと掲示板上で「対話」(フレイレ,1979)
- 授業実践開発パート
授業実践の映像をもとに、ファシリテーターと掲示板上で「対話」(フレイレ,1979)
授業開発。読み解きに留まらない。
- 資料提供パート
個別学習

活動(1) 読み解き視座の獲得

- リソースとなる映像資料
既存のものを著作権を処理して使うか
学習者が自ら映像を作り、振り返るか
- ファシリテーターとディスカッション
映像をもとに、ファシリテーターと掲示板上で「対話」(フレイレ,1979)

活動(2) 授業実践開発

1. 先生方が個人的に授業案を持ち寄る
2. ディスカッション / 検討
3. 授業実施 / 録画
4. ストリーミング配信
5. 検討
6. 改良
7. 共有(他の先生が使うのも可)

まとめ

本研究では…

教師教育や教師支援CSCLの知見を積極的に援用しつつ、メディア・リテラシー学習の固有性に配慮した、ディスカッションベースの授業実践開発型のWEBコミュニティの構築を目指す。

今後の課題

- 日本におけるメディア・リテラシーの現状に即した、支援システムの構築
- 学校という枠組みの中で、メディア・リテラシーをどう扱うか…。

「メディア・リテラシーはカルチュラル・スタディーズの知見を噛み砕き、リチューンしただけのものでは断じて無い。」(水越2002.11.7午前11時頃)

今後の展望

MELL Projectのサブプロジェクトとして開発、実装**予定。**

ご清聴ありがとうございました。

酒井俊典
shun-10@jcom.home.ne.jp